

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、26～28℃台を示し、平年並み～やや低い水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網——西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり10トンの水揚げで、前週の1.7倍（前年並み）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり3トンの水揚げで、前週の1.5倍（前年並み）。北松南部地区では、ウルメイワシなどが1日1統当たり16トンの水揚げで、前週の1.6倍（前年を上回った）。
- イカ釣——スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり0.7kgの水揚げで、前週の70%（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり5kgの水揚げで、前週の71%（前年を下回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり35kgの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり201kgの水揚げで、前週の2.3倍（前年を下回った）。
- 定置網——北松生月地区では、カマスなどが1日1統当たり701kgの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり245kgの水揚げ。対馬東岸地区では、カンパチなどが1日1統当たり49kgの水揚げ。
- 一本釣——北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり19kgの水揚げで、前週の1.6倍（前年並み）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（8/20日～8/23日の4日間）沖合イカ釣り船、船凍船は、全船が出漁（北太平洋中央部付近で操業、日本海は佐渡周辺及び大和堆付近に出漁）。

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～隠岐海峡～鳥取沖～兵庫沖～能登半島～佐渡沖～山形沖にかけて出漁した。鳥取県漁協境港支所 1日延1隻、総計4箱、スルメイカ（入合）1箱、ケンサキイカ（2立～3立）3箱の混獲となった。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第31-25号 五島灘・五島西沖・対馬東水道・壱岐水道の観測結果」を長崎県庁ホームページに掲載しています。

長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」から漁海況週報や漁海況通信をご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>